



安八交番 だより 245

気をつけて 『振り込め詐欺』

県下では依然として振り込め詐欺が多発しています。

犯人は次々と新しい手口でだましてきます。親族や警察官・役所の職員になりすまして電話をかけ、お金やキャッシュカードをだまし盗っています。

○息子をかたり

「携帯電話の番号が変わった」
「会社の金を使い込んだ」

「交通事故を起こした」など

○警察官をかたり

「あなたの情報が漏れている」
「金融機関の者を行かせます」など

○社会保険庁をかたり

「税金が戻ってきます」などと電話をかけてきます。

電話の話はすぐ信用せず、電話の相手をよく確認したり家族に相談するなどして被害に遭わないようにしましょう。

夏の交通事故防止 県民運動実施

7月11日(金)～20日(日)

夏になり子どもたちは屋外で解放的に活発に行動するため、交通事故の被害にあうことが懸念されています。また、ドライバーの方は暑さのため注意力が散漫になり交通事故が多発する時期です。

保護者の皆さんは、子どもたちが交通事故の被害者にならないように

○自宅周辺の危険場所を話し合い、具体的な危険を教える

○自転車を運転するときは、交差点では必ず止まることを教える

○出かけるときには、必ず行き先を確かめておく

車を運転するドライバーの皆さんは

○子どもは予測できない行動をするので、子どもを見たら速度を落とす

○飲んだら乗らない。飲酒運転は絶対にしないでください

等地域ぐるみで子どもたちを見守りましょう。



消防署 だより 105

熱中症を防ごう

熱中症は命にかかわる病気です。気温が高くなくても、湿度が高い日や風が弱い日、体が暑さに慣れていないときなどは注意が必要です。また、気象庁の「高温注意情報」(<http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/ko-uon>)や環境省の「暑さ指数」(<http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/ko-uon>)の情報を活用し、十分な対策をとりましょう。

◆高齢者は特に注意

発汗機能が低下している高齢者は熱中症になりやすいです。屋外、屋内に関わらず、家族や周囲の人たちが「水分とっていますか?」などと積極的に声をかけてください。

◆日常生活でできる予防

①水分をこまめにとる

のどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給してください。汗をかいたときは、スポーツドリンクや塩あめなどで水分とともに塩分も補給しましょう。

②無理せず休憩する

長時間の活動を避け、こまめに休憩をとりましょう。

③暑さを避ける無理

屋外では、日陰を選んで歩いたり、日傘をさしたり帽子をかぶったりしましょう。

屋内では扇風機やエアコンを適切(設定温度28度以下、湿度60%以下)に使ったり、すだれや

カーテンで直射日光を防いだりして、暑さを避けましょう。

④服装にひと工夫

通気性、速乾性のある衣類を選び、黒色の服やネクタイ、えりのある服装を避けましょう。

⑤個人の条件を考慮する

熱中症発生には、その日の体調が影響します。前の晩に深酒をしたり、朝食を抜いたりした状態で暑い環境へ行くのは避けましょう。

◆熱中症と思ったら

緊急事態です!

①日陰で風通しのよい場所へ移動

②水をかけたり、うちわであおんだりして、すぐに体を冷やす

③可能なら、冷たい水、スポーツドリンク等を与える

④回復しない場合はすぐに救急車を呼ぶ

